

「ごみの減量」何をすればいいの

ごみの減量について、具体的に何をしたらよいか、何ができるかを紹介します。

ごみを減らす

「いつかはごみになるもの」という意識を持つことで「すぐに必要でないものは買わない」、「使うかどうか分からない物は、もらわない」など、無駄をなくしましょう。

使い捨ての物（紙皿・レジ袋）をなるべく使わないように心がけましょう。

家庭から出る生ごみは水分を含んでしまっているため、ザルなどで水分を取る工夫をすることで減量に繋がります。

物を大事に使う

自分では要らなくなったものをエコマーケットやリサイクルショップを利用し、必要とする人に使ってもらうことで、再利用することでごみを少なくしましょう。

リサイクルする

家から出る不要物の中には資源としてリサイクルすることのできる物がたくさんあります。

古紙は燃えるごみとして出すのではなく、古紙回収に出しましょう。古紙以外にも、衣類やアルミ缶など地域や団体ごとに回収されているところもありますので、自治会などに確認して、資源回収にご協力をお願いします。

また、生ごみは堆肥として、有効活用することもできます。

少し手間をおかけしますが、ごみの減量と資源化のため、自身でできることを考え、ごみの削減にご協力をお願いします。